

令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る 文部科学大臣表彰受賞

～山形市立高橋中学校・高橋地区地域学校協働活動ネットワーク～

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰とは、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施により、学校運営の改善・強化のみならず、学校を核とした地域づくりにも効果を上げている取組のうち、他の模範と認められるものに対して行われる表彰です。平成 23 年度から実施し、令和 2 年度から隔年実施となっています。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の制度化 20 周年となる今年度、山形市立高橋中学校及び高橋地区地域学校協働活動ネットワークが受賞しました。

～高橋中学校及び高橋地区地域学校協働活動の取組み～

1 学校運営協議会

地域住民等への情報発信や地域に根ざした学習の充実を期待し、地域づくりに積極的に取り組んでいる人材であることを視点に委員を選出しています。これまで「少子化に伴う今後の教育活動の在り方について」「放課後・休日の部活動について」「地域と学校の協働活動について」といったテーマで熟議を行いました。また、委員による授業参観と生徒との意見交流も行いました。

2 地域学校協働活動

学校における地域学校協働活動として、地域住民や地域団体、施設や企業などの参画を得て地域探訪（総合的な学習の時間）や職業体験（総合的な学習の時間）を行っています。また、生徒がコミュニティセンターに出向いてボランティア体験（奉仕活動）を行いました。

地域における地域学校協働活動として、「たかせ元気会」による地域で子どもを育てる多世代交流や「たかだて吹奏楽クラブ」が中学校と連携して活動を行いました。

3 地域学校協働活動推進員の活動

令和 4 年度より配置しています。特徴的な活動として、

- ・地域学校協働活動だより『おらだですっぺ』による情報提供
- ・地域学校協働活動に参画する地域住民等への説明
- ・中学校区内の小学校に配置された地域学校協働活動推進員との情報交換
- ・地域学校協働活動推進員及び教職員に対する事例紹介
- ・カリキュラムマネジメントへの協力（地域学校協働活動の教育課程への位置付けなど）を行っています。

山形市立高楯中学校

昭和29年に高瀬・楯山村組合立高瀬中学校から山形市立高楯中学校となりました。校章となっている「かわらなでしこ」の五弁の花びらは「健康・真理・友情・勤労・自主」からめざす生徒像を表し、二枚の葉は高瀬・楯山の「協力」「融和」の願いが込められています。令和6年度は137名の生徒が在籍しています。

「高楯地区地域学校協働活動ネットワーク」による地域学校協働活動の紹介 〈地域探訪〉

総合的な学習の時間に行った学習活動です。高瀬小学校出身の2年生が楯山小学校出身の1年生に高瀬地区を案内し、楯山小学校出身の2年生が高瀬小学校出身の1年生に楯山地区を案内して、それぞれの地域の魅力を学ぶ学習です。地域の企業や飲食店、寺、神社などの方々が生徒の学びを支えました。

〈「たかせ元気会」による地域で子どもを育てる多世代交流〉

「たかせ元気会」という地域団体が2012年から行っている活動です。映画の上映や小学生が参加するワークショップなどを行っています。第10回となる今年度は「山形弁巨大カルタをつくって遊ぼうという」ワークショップとギタリスト・シンガーソングライターの山口岩男さんのトーク&ライブを実施しました。小学生がワークショップに参加し、中学生はボランティアスタッフとして運営に参画しました。また、多数の地域の方が子どもたちの学びを支えました。

〈たかだて吹奏楽クラブ〉

高楯中学校では生徒数の減少により、令和5年度末に吹奏楽部が廃部となりました。「音楽を楽しみたいという中学生の願いをかなえたい」と、「地域の受け皿づくり」として「たかだて吹奏楽クラブ」を立ち上げ、昨年10月から活動を始めました。小学生から70代までのメンバーが毎週集まって練習をしています。昨年10月には楯山コミュニティセンターと高瀬コミュニティセンター文化祭で発表しました。

〈中学校区内の小学校に配置された地域学校協働活動推進員との情報交換〉

高楯中学校、楯山小学校、高瀬小学校に配置されている地域学校協働活動推進員が集まって「地域のヒト・モノ・コト」についての情報を共有しました。また、地域の課題についても意見を交換しました。楯山地区と高瀬地区のネットワークがつながり、高楯地区のネットワークとして広がりました。